連続歴史講座

墓制の考古学

2018年9月22日（土）13:00～

愛知県埋蔵文化財調査センター２階研修室

弥生時代の墓

宮腰健司

（愛知県埋蔵文化財センター）

キーワード：方形周溝墓　朝日遺跡　土器棺　埋葬人骨

１．この地方でもっとも多く見つかっている弥生時代の墓として方形周溝墓がある。埋葬部分（墳丘）の平面の形は方形で、周囲４方向に溝（周溝）を巡らせる。方形周溝墓は弥生時代前期に近畿地方で始まった墓制で、古墳時代まで続いていく。埋葬施設としては、土坑（穴を掘って埋葬する）、木棺（木の棺）、土器棺（壺や甕を棺にする）がある。埋葬施設の数は単独のものと複数のものがあるが、大きさや供献土器・副葬品などにはあまり差がみられない。

２．伊勢湾岸地方では、弥生時代前期から中期初頭に伊勢から尾張北部で墓として採用され、中期中葉から後葉に三河・美濃、さらに東日本へと分布範囲が広がっていく。平面の形が、四隅が途切れる形態の墓は、伊勢から尾張北部で定型化したと考えられ、その形のものが東日本へと伝わっていく。

３．愛知県清須市・名古屋市にある朝日遺跡では、弥生時代中期から古墳時代初頭にかけ400基を超える方形周溝墓が造られている。大型方形周溝墓を含む東墓域と、中～小規模な方形周溝墓の西墓域を中心に、さらに南北にも墓域が設けられる。方形周溝墓は既に造られている墓を壊さずに新しい墓が順次造られていくので、当時ムラの周りには広大な墓地が広がっていたことになる。

４．弥生時代中期後葉になると、墳丘上に土器棺が置かれるようになる。近畿地方では小児棺とされるが、縄文時代以来の土器棺の伝統があるこの地方での様相は。

５．方形周溝墓・土器棺以外の墓について。

６．後期以降になると、墓の形が変化する。

次回は１０月６日（土）「古墳の時代の古墳、お墓、その他」　早野浩二

お問い合わせ先

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

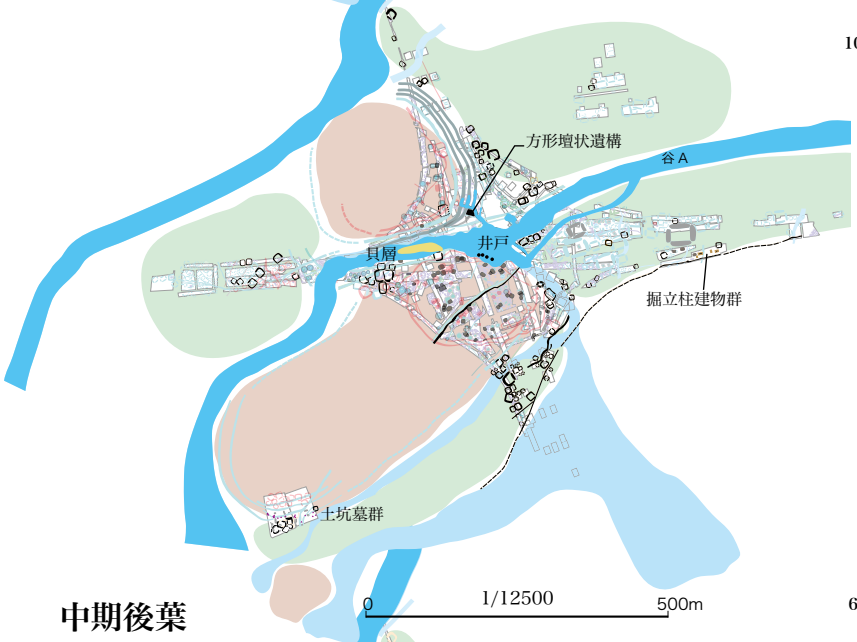
〒498-0017　愛知県弥富市前ケ須町野方802-24

Tel. 0567-67-4163　Fax.0567-67-3054

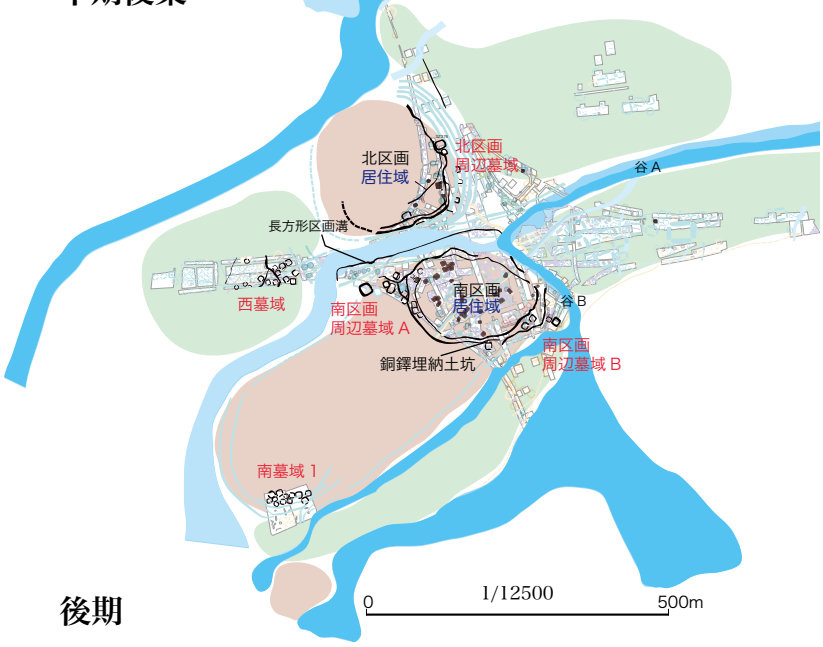
http://www.maibun.com/top/

朝日遺跡

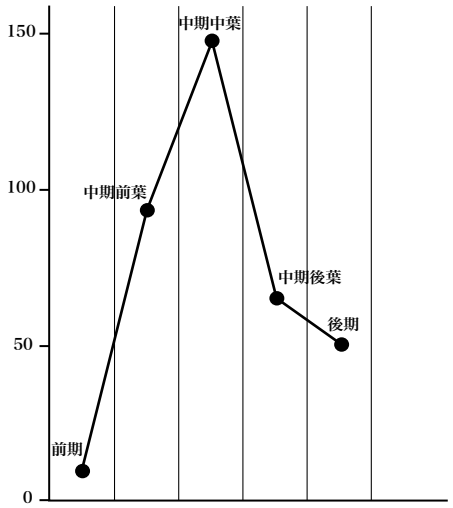
中期中葉



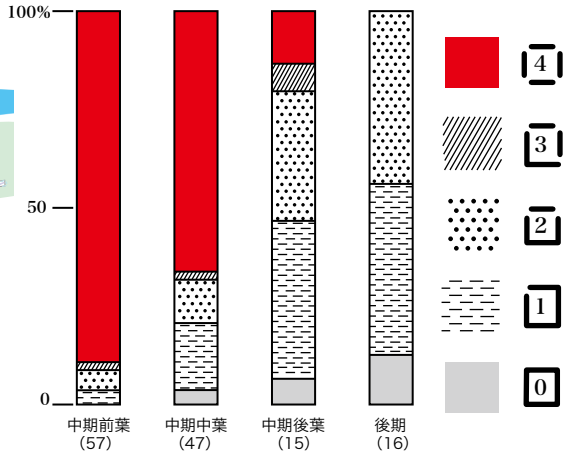
中期後葉



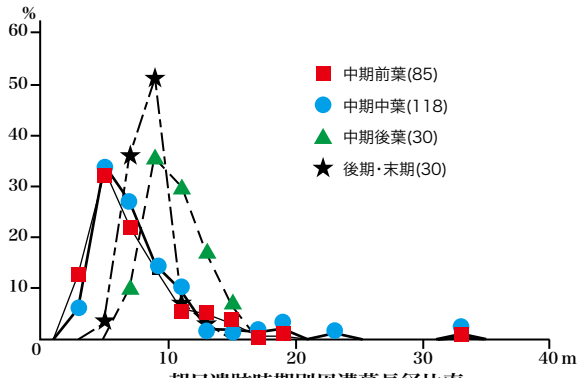
後期



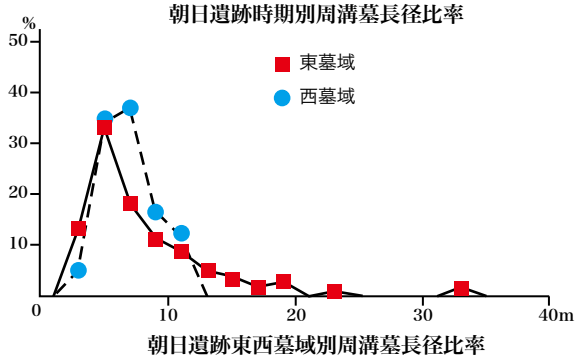
尾張低地部の周溝墓の数



朝日遺跡時期別方形周溝墓形態比率

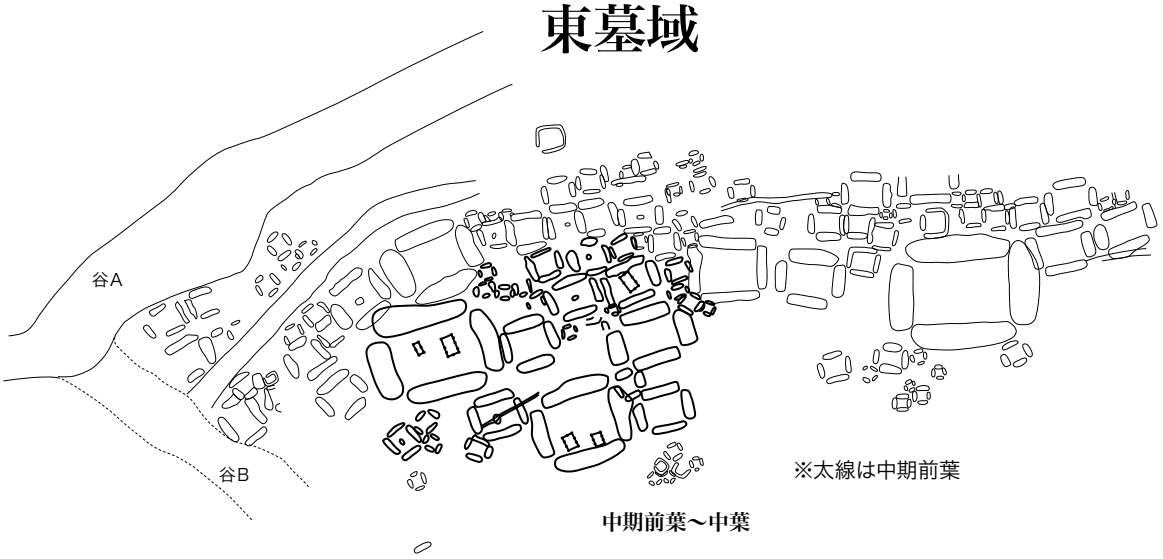


朝日遺跡時期別周溝墓長径比率



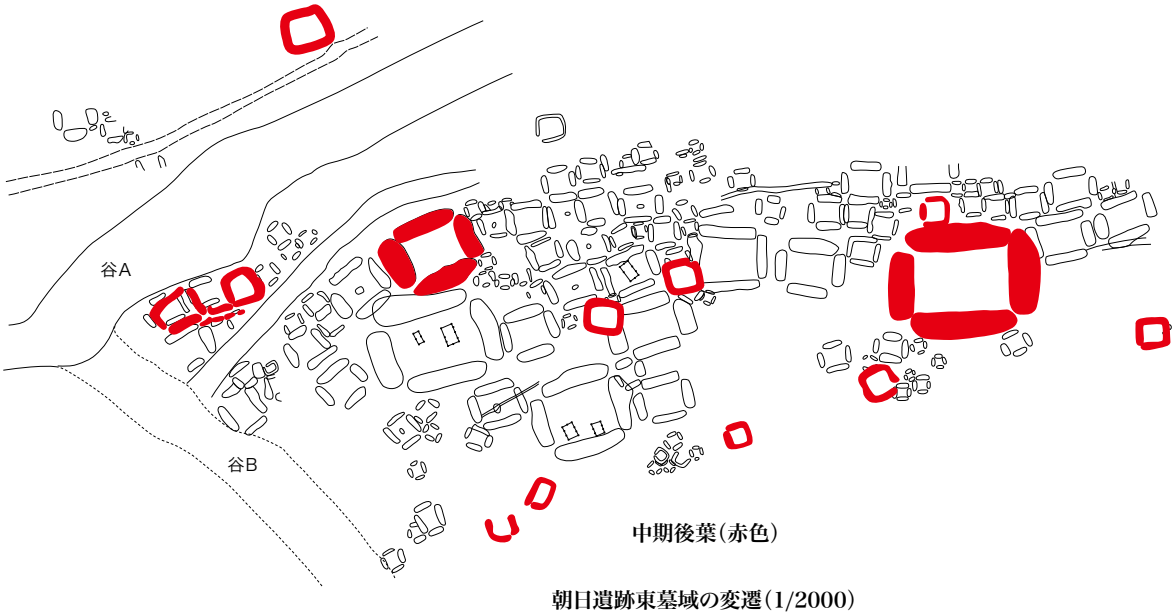
朝日遺跡東西墓域別周溝墓長径比率

東墓域



※太線は中期前葉

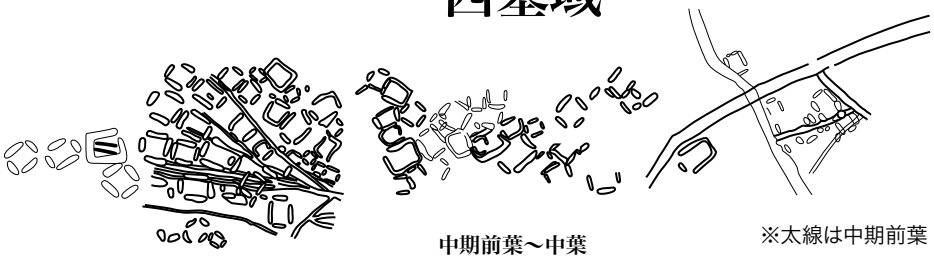
中期前葉～中葉



中期後葉（赤色）

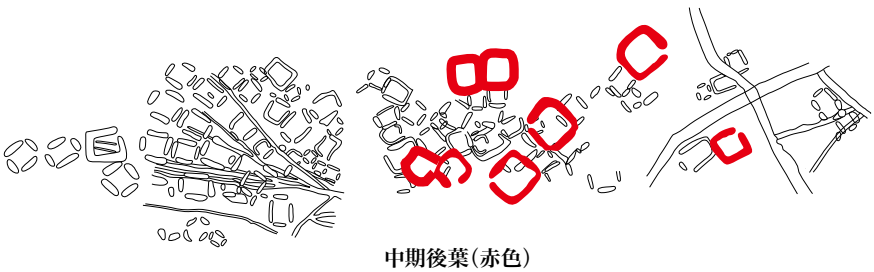
朝日遺跡東墓域の変遷（1/2000）

西墓域



※太線は中期前葉

中期前葉～中葉

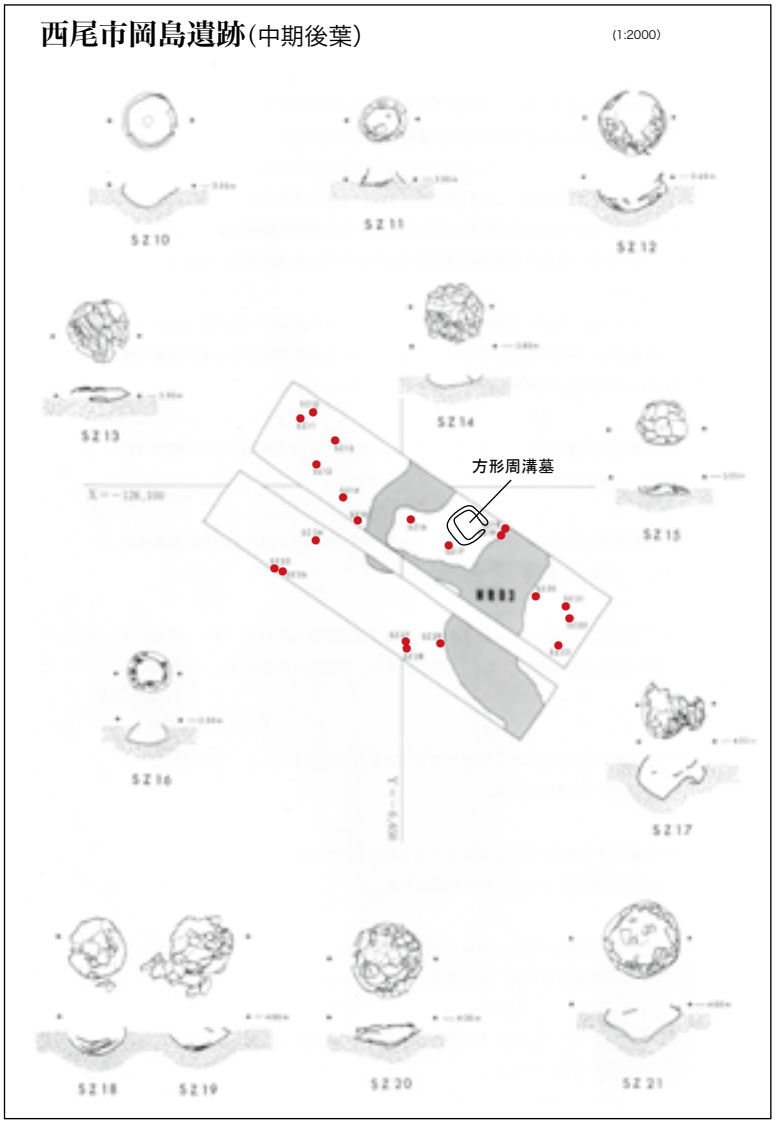


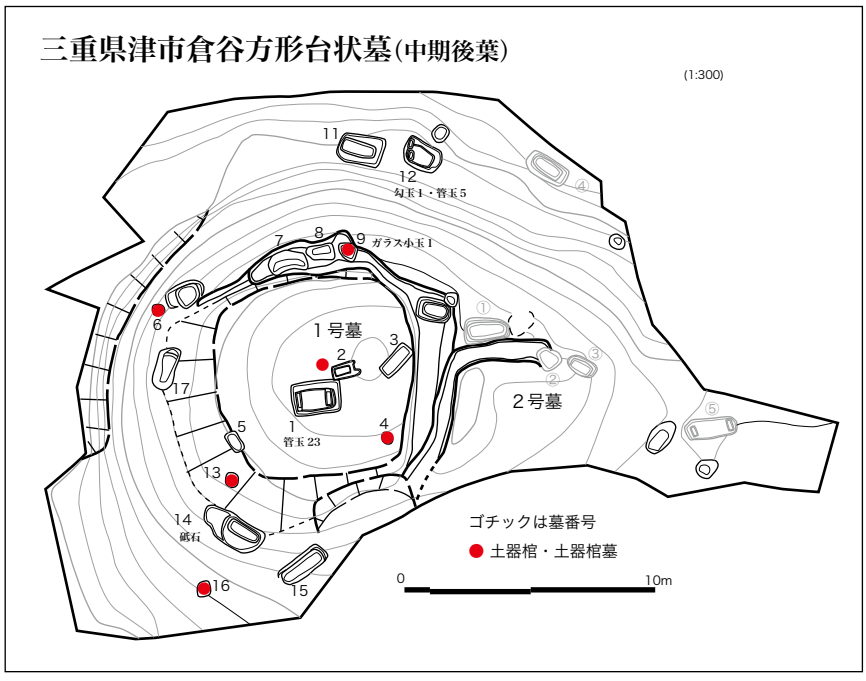
中期後葉（赤色）

朝日遺跡西墓域の変遷１（1/2000）

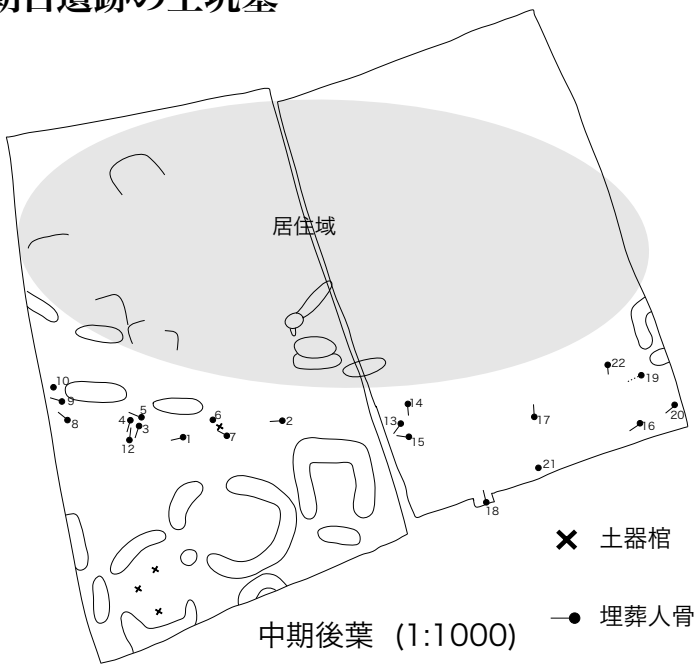
方形方形周溝墓と土器棺、供献土器

朝日遺跡
土器棺・供献土器

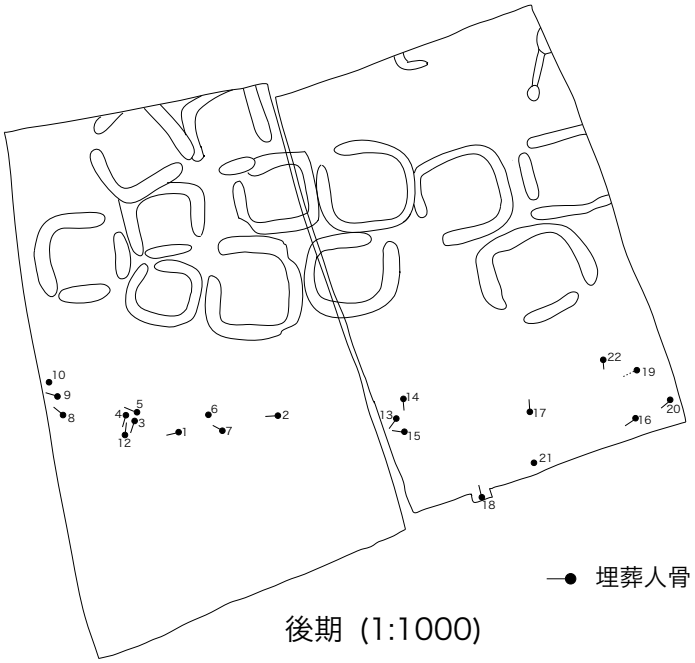




朝日遺跡の土坑墓



中期後葉 (1:1000)



後期 (1:1000)

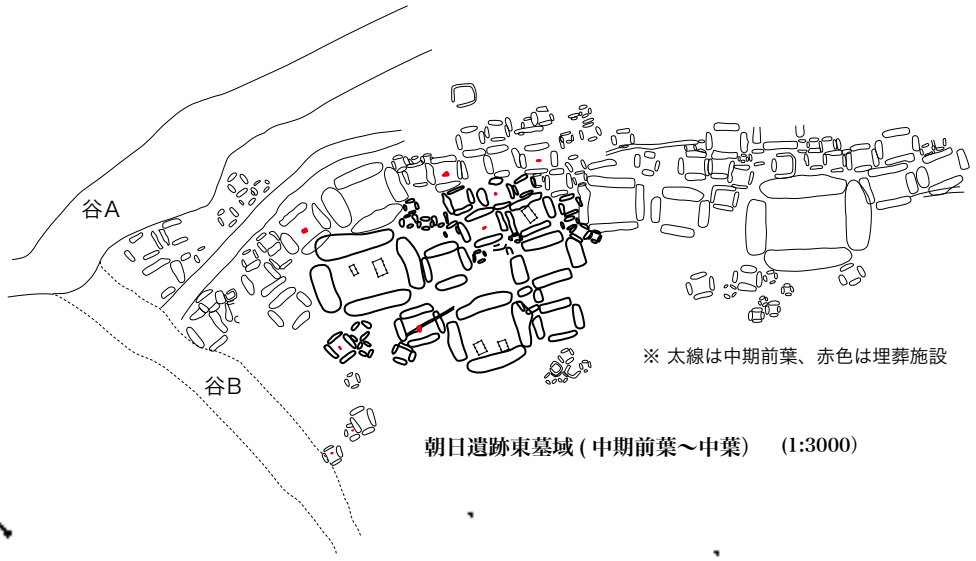
名称（号）	性別	年齢	身長
1	—	14歳～未成年	
2	男性	20～25歳	
3	男性	20歳代半ば	
4	男性	成人	
5	—	4歳前後	
6	男性	30歳代半ば	
7	—	13～15歳	
8	女性	25歳前後	
9	—	4～5歳	
10	—	3歳前後	
12	女性	40歳代以上	156cm
13	男性	20歳代前半	160cm
14	男性	20～30歳	
15	男性	成人	165cm
16	—	13～15歳	
17	男性	30歳代以上	162cm
18	男性	20歳前後	166cm
19	男性	40歳前後	167cm
20	男性	若年	148cm
21	女性	—	
22	女性	20歳代	
貝1	男性	熟年	160cm
貝2	男性	熟年よりやや下	160cm

2号

貝殻山1・2号

15号

朝日遺跡 SZ111（中期後葉）　(1:600)

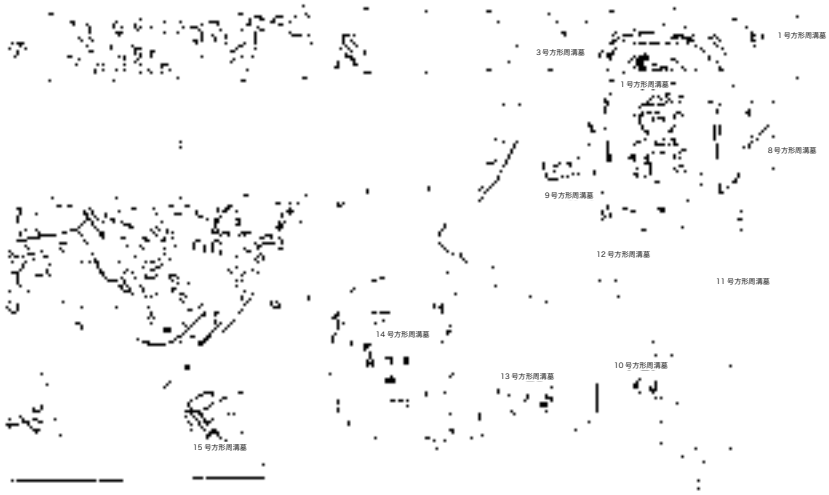


※ 太線は中期前葉、赤色は埋葬施設

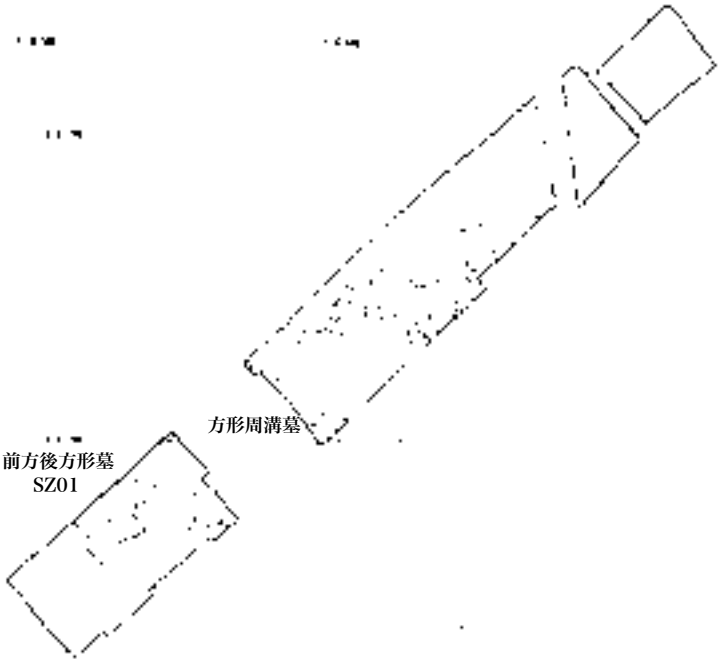
朝日遺跡東墓域 (中期前葉〜中葉）　(1:3000)

三重県多気郡明和町織糸遺跡 SX6、SX7（末期）　(1:600)

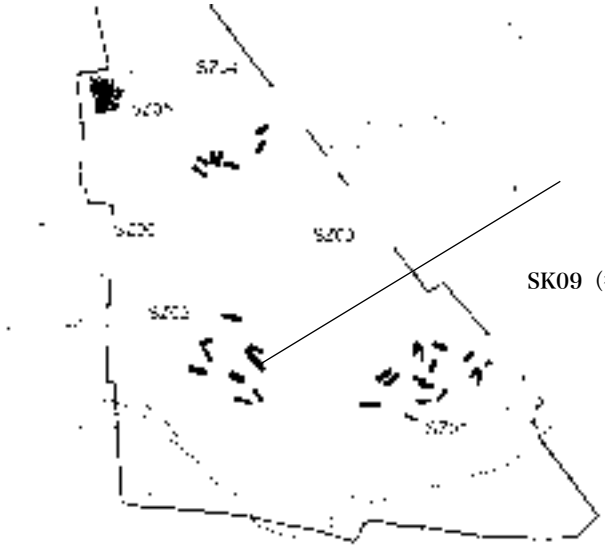
一宮市山中遺跡 SZ13（後期〜末期）　(1:600)



大阪府東大阪市瓜生堂遺跡（中期中葉〜後葉）　(1:600)



清須市廻間遺跡（末期）　(1:2500)



(1:150)

SK09（後期）

豊田市川原遺跡（後期〜末期）　(1:1400)